



宮崎県立宮崎農業高等学校

所在地 〒 880-0916
宮崎市大字恒久春日田 1 0 6 1 番地
電話番号 (0985) 51-2814
FAX番号 (0985) 52-6406
ホームページアドレス <http://cms.miyazaki-c.ed.jp/6004/htdocs/>



在籍者数・学級数 (平成29年4月1日現在)

学 科	生物工学科			生産流通科			食品工学科			環境工学科			生活文化科			計
	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
在 男	28	25	21	9	7	6	4	3	2	37	38	31	0	0	0	211
女	12	15	19	31	32	34	36	37	38	3	2	0	37	40	40	376
籍 計	40	40	40	40	39	40	40	40	40	40	40	31	37	40	40	587
学科計	120			119			120			111			117			587

学校の特徴

明治26年(1893年)に創設され、今年度124年を迎える伝統のある学校です。校訓「自尊独立」「流汗悟道」の精神を核とした人づくりを目指しています。

農業に関する4学科と家庭に関する1学科の合計5学科があります。科学技術の進展や社会の変化に対応する未来志向の学科であり、専門教育による将来のスペシャリストの育成を目指します。

農業技術検定、家庭科技術検定、危険物取扱者、測量士補、土木施工管理士、商業簿記、ワープロ、バイオ検定などの資格取得に力を入れており、各種の資格取得のための課外指導等を実施しています。実験や実習の時間が多く、体験的な学習をとおして専門的な知識や技術を学びます。

宮崎大学や鹿児島大学、県立看護大学、宮崎公立大学をはじめ、私立大学、短期大学、県立農業大学校や各種専門学校等へ進学することが可能です。そのための選択授業や課外指導も実施しています。卒業生の60%が大学や短大、専門学校等へ進学しています。

また、1年生全員の部活動を実施し、進路実現に向けた取り組みの1つとしています。

学科の特色及び主な進路先

生物工学科 (定員40名)



優れた農業経営者や農業関連産業界での活躍へ向けて、イネ・野菜・草花・ラン類など農作物の基礎的な栽培・管理技術を学びます。また、植物バイオ技術、農薬残留や土壌分析など、科学的に農業技術について学びます。各農家や関連企業への視察、体験研修をする事で実践的に学習します。

宮崎大、鹿児島大、茨城大、宮崎県立看護大学、宮崎公立大、東京農業大、東海大、南九州大、九州産業大、宮崎産経大、宮崎国際大、南九州短大、大分短大、宮崎学園短大、県立農業大学校、刈園芸専門学校、JA宮崎中央、宮崎中央青果、県公園協会、フェニックスリゾート、日野洋蘭園、ブリヂストン、いすゞ自動車、警視庁、陸上自衛隊

生産流通科 (定員40名)



農業・流通・情報等の各産業界での活躍へ向けて、野菜・草花・果樹の栽培技術や情報処理・簿記などの学習を通して、農産物生産・コンピュータ等に関する知識や操作技術を習得します。また、地域での即売会に参加し、実践的に流通の学習をします。

宮崎大学、鹿児島大学、東京農業大、東海大学、南九州大学、宮崎県立農業大学校、宮崎産経大、南九州短期大学、宮崎学園短期大学、宮崎中央青果、宮崎観光ホテル、ヤマト運輸、コスモス薬局、宮崎銀行、宮崎太陽銀行、高鍋信用金庫、県公園協会、はとバス、東京ヤサカ観光バス、陸上自衛隊、海上自衛隊

